
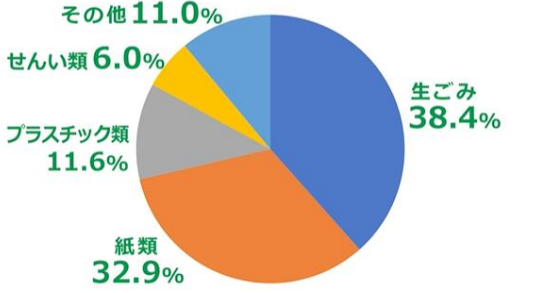
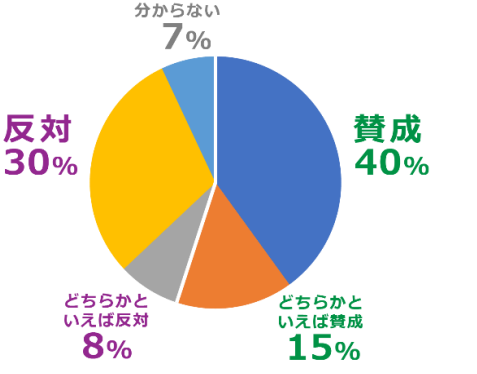


構成割合をみる

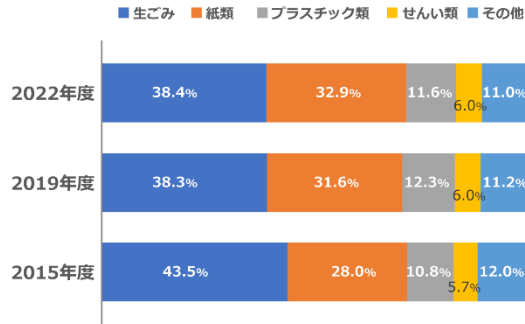
円グラフ・帯グラフ

	<p>今回のテーマは、データの構造を理解するのに役立つグラフだ。</p> <p>それは…円グラフと帯グラフ！</p> <p>さっそく見てみよう！</p>
<p>1. 円グラフ</p> <ul style="list-style-type: none">・全部の合計が 100%・割合が大きい順に見せる <p>京都市の燃やすごみの割合 (2022年度)</p>  <p><small>京都市「令和4年度家庭から出る燃やすごみの内訳」より作成</small></p> <p>http://sukkiri-kyoto.com/data</p> <ul style="list-style-type: none">・賛成、反対に分けて見せる 	<p>まずは円グラフ！丸いやつだね。</p> <p>全体を 100%として円で表し、それぞれの項目(こうもく)がどれくらいの割合をしめているかを示すんだ。</p> <p>例えば、燃やすごみの種類別構成を見るとこんな感じ。</p> <p>円グラフはデータが大きい順にすると、全体の割合が分かりやすいよ。</p> <p>ただ、こんな風に賛成・反対が分かるように見せることもあるから、目的によって使いわけてね。</p>

2. 帯グラフ

京都市の燃やすごみの割合

京都市の燃やすごみの割合



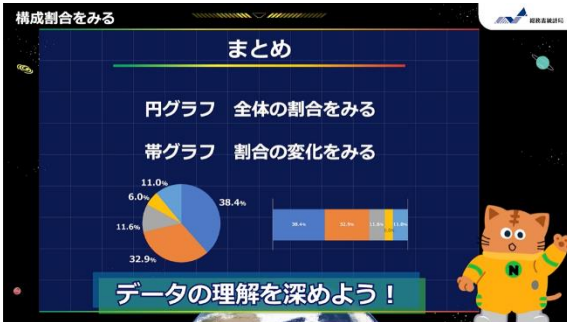
京都市「燃やすごみの組成の推移」より作成

<http://sukkiri-kyoto.com/data>

次は帯グラフ！

データの割合を示すのは円グラフと
いっしょだけど、こっちは帯の幅(はば)で
表すんだ。

帯グラフのいいところは、こうやって並べると、
年度別のごみの排出量(はいしゅつりょう)
の変化を分かりやすく見せられるところ。



円グラフと帯グラフを使って、
データの構造を見る方法が分かったかな？

こうしたグラフを上手に活用すると、
データの理解がぐんと深まるね。